

現代を自在に旅する
アンサンブル

Ensemble NOMAD

#2

月夜の蒼白い花びらの降り注ぐ夜の世界に、皆さまをお誘います。遠い昔の——なつかしい音りを求めて、「赤いミサ」が行われる夜をさまよう工口物語。そして、最終年の傑作《弦楽三重奏曲》を演奏します。

◎指揮紀雄 (2001年)

◎木ノ原浩史

◎塚本秀夫

◎伊藤史子

◎石川真文

◎中川真一

◎藤川幸子

◎藤澤五文



profile

1997年、キタリスト・佐藤紀雄によって結成された注目アンサンブル。従来の才俊ある演奏家が集まり、斬新なアディティブによるプログラムにより20世紀を越えて現代作品を演奏、「NOMAD」(2001年)の名刺にふさわしく、幅広いレパートリーを自在に取上げる。メンバーは、様になる15人にゲストを交え、編成もフレキシブルにさまざまな曲に対応する。

1998年4月から2年に行方り開催された10回の定期演奏会も、内外から高い評価を得る。洗練された、編曲家としてのオバウツの物語、1999年2月新国立劇場ダンス・シアターNO.2、平林和子作品《アウスト》をオランダの作曲家M. J. デルターによる曲で演奏初演。東京オペラシティで毎年開催される「コンボージャム」や、サントリーホールでのサマーフェスティバルでは、各国から持ち込まれる新進作曲家の最新作の演奏会に出演、世界の「現在」を鮮やかに伝える。2001年は、愛知芸術文化センター、札幌コンサートホールKITARA、大塚美術館ギャラリーなどで各地で演奏する。

海外との交流も活発に盛る。2000年にはオランダ、ヘルネーに招かれ演奏。2001年2月東京で演奏された「HOLLAND MUSIC DAYS IN TOKYO」(Holland Music Days in Tokyo)に出演し、オランダと日本の音楽を演奏。シェーンベルク没後50年の2001年には定期演奏会で凡の作品を特集。2002年11月には、東京で開催される「ザリニ・フェスティバル」に出演する。CDは、新録音作品集「柘子」(NCD-07)「空の領域」(NCD-07)がすでに発売されている。石川真実作品集を録音(2009年)。

指揮紀雄

アンサンブル・ノマド 2001年度コンサートスケジュール

Ensemble NOMAD Concert Schedule in 2001 - 2002

日	日時	主な曲目	一般チケット発売日
#1	2001年 9月11日 [火]	シェーンベルク: 組曲、弦楽四重奏曲第2番ほか	発売中
#2	2001年11月15日 [木]	シェーンベルク: 弦楽三重奏曲、月に濡れたピエロ	8月4日 [土]
#3	2002年 1月16日 [水]	カーゲル: タクティル、ケージ: 楽隊の音楽ほか	10月6日 [土]
#4	2002年 3月22日 [金]	新山洋一: 橋渡曲、クセナキス: プレリューズほか	12月15日 [土]

東京オペラシティ・サントリーホール
電話: 03-5555-0788
新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティ地下1F
京王新線都立駅東口下車3分